

テーマ型協働事業に対するコメント概要

事業名	「男女共同参画・多様性配慮の視点」を取り入れた 今治災害特性対応版【私の防災ノート】を作成と 防災ネットワークの活性化	
実施団体名	『レディース&ママ防災カフェ』	
協働団体	①人権啓発課②今治市防災士会	
テーマ提示課	人権啓発課	
事業概要	<p>市民の防災意識調査のため、2018.7.8エコ祭り 市民アンケート実施、7. 28浅野幸子先生による女性・生活者・当事者目線で考える防災”講演・ワークショップを愛らんどで開催し、被災時に、女性や多様な生活弱者がどのような状況になるか、またその具体策について、考えました。</p> <p>8.25バリクレーンにおいて、親子防災バリバリ探検隊を開催、自分たちの命を守るために何をしたらいいか、親子で体験して頂きました。</p> <p>12月初旬これまでの活動をもとに、災害特性対応版スマボ～Imabariスマート防災ノート】を編集発行、12.9イオン新都市2階ホールにてスマボ完成披露、防災親子カフェ@いまばり、防災シンポジウムを開催し、家庭でできる防災、また、スマボを使った防災についてシンポジストの方々より意見を頂戴しました。</p> <p>2019年1月より自治会、自主防災会、学校、障害者団体でワークショップを開催し、防災意識の向上する活動を継続予定</p>	
補助額	市補助額790,000円 (総事業額 1,144,518円 補助対象経費 1,144,518円)	
コメント	実施団体	『レディース&ママ防災カフェ』を続ける中で、日常の困りごとがそのまま災害時に持ち越されることに気づきました。もっときちんと災害弱者の声が生かされた防災対策が必要で、自分ごととして気づいていない人や何から始めて良いかわからない人のために、実際に役立つ防災知識や普段からの備えなど、自分に家庭に置き換えて活用できる今治災害特性対応版【スマボ(Imabariスマート防災ノート)】冊子を編集発行。作成に当たり、ワークショップで多様な市民の素朴な声を聴き専門家の支援を得ました。発行したスマボはワークショップ等を行い、市民の防災意識の向上活動を継続していきます。
	市民活動推進委員	<p>スマボはわかりやすく公益性があると思う。また、数ヶ月でこれだけの事業に取り組んだことはすごいと考える。</p> <p>自主防災は重要な課題だけに、複数の課と協働しながら解決していくべき課題である。官民一体となつての取り組みを複数の課と取り組める体制ができれば発展につながると思う。</p> <p>本事業を通じて危機意識が高まるきっかけになった。広く市民の意識を変えるきっかけを提供し、特に女性ならではの目線できめ細やかな配慮のある情報をまとめることができたと思う。また、継続していくために、事業計画やスケジュールを見直し、優先順位をつけ無理のない範囲で実施して頂きたい。</p>
	テーマ提示課	<p>作成された冊子「スマボ」は、防災・減災に役に立つ具体的な情報が満載で、親しみやすくわかりやすいものとなるようイラストを用いる、自分の家庭に合うよう書き込みができるなどの工夫がされている。この「スマボ」を使ったワークショップを継続して開催することで、地域防災力の向上、防災・減災対策の意思決定過程への女性の参画が拡大することを期待している。</p>